

○内國金物商況 (三月中)

鐵 例年三月頃は需要も起り漸次荷動きある季節なるに、本年は商況沈滞價位不動、而かも中旬以後一層軟弱の氣勢を示せり、蓋し需要者の極度に手控へたる上、便船毎に幾分つゝ入荷あり、二月の如く多量ならずとは云へ全月合計四千噸には達したるべく、以て伸値を抑止し物によりては英米本國の下廻りとなれるあり、されと曩に本邦輸入先約品に對し一噸十八弗の割増金を要求したる米國鐵材輸出組合は、三月下旬に於て更に割増率を二十八弗に増加し來りし爲め、前約品の輸入値段と内地市場價值とは一層逆鞘關係を大ならしめたるより、久しく總見送りの姿なりし取扱高の間に漸く買筋し來り、三月末に押迫りては市中相場二三十錢方引締りを告げ、鐵價轉換の機運接近せし様思はしめたれとも特に人氣を引立つるには至らざりき。

銑鐵 は奔騰亦奔騰、釜石銑鐵の如き一噸百圓前後の値を唱ふるに至れり、蓋し英米品は今や全く輸入を絶ち、印度銑は船便の都合さして悪しからず多少輸入ある様子なれとも總て大阪銑鐵トラストの支配下に在るを以て在荷の多少に拘はらず能く高値を維持し、内地品全く獨舞臺の姿なれば斯くも昂騰するなるへし。

銅 三月二日英國政府か倫敦金物市場の停止を命したる爲め、さしも沸騰したる銅價も一寸落附き、六日解停の日

には現物九十磅十志と停止前の値に比し一磅半低位に生れ、電氣銅は一吋百三十磅の高價を付けたるのみにて全月を通して百三十六磅に固定したれとも、現物先物は其後一日に昂騰し、二十四日には現物百十八磅五志先物百十二磅十志に達し、其翌日突如低落して現物百十磅となり其儘月末に及へり、是れに據りて察するに倫敦銅價の奔騰は單純なる投機熱に起因するものに非ずして、實際の品拂底に本つくものなるべく當分暴落すること無かるへし、内地市場は倫敦相場の影響を受けて二十九日一圓方低落し、月末五十錢方跳返したれとも、一般に人氣銷沈し賣行不振にして見送の状態なりき。

亞鉛 三月六日倫敦金物市場開停の際には現物百十磅先物九十三磅なりしか、爾後數日間暴落又暴落十三日着電現物九十二磅先物八十磅を報し、それ以來立直らずして月を終り、是れ英國政府の調節策に因ると傳ふ、内地市場は依然好景氣を維持し政府筋の購入もあり氣先は上向一方にて、二月中四十七八圓の安直あり其後更に六十二圓の高値に進み、月初五十五、七圓を保ちたるに、倫敦市場の餘響を受け月央には五十圓擲となりて幾分軟弱となり其儘月末に至れり。

其他の諸金屬中錫、鉛、安質母尼は多少の高下あれとも餘りの高價にて需要者頓と手出せざる爲め著しく市況を動かすに至らず、唯久しく變動せざりし銀か此月に入り奔騰し月初倫敦銀塊相場二十六片十六分十五より月末二十八片十六分十五分に達せしを異數とす。